

## ハルビン近代建築における形態要素に関する研究

その3

正会員	○張健	*1
同	姜涌	*1
同	近藤正一	*2
同	若山滋	*3

## 1 はじめに

本研究は前稿「張健, 三宅光明, 近藤正一, 若山滋: ハルビン近代建築における形態要素に関する研究・屋上突出物とパラペット, 1997, 1997年度大会(関東)学術講演梗概集」から形態要素の分類研究を発展させて、その相互関係を類型化することにより、ハルビン近代建築の形態的特徴と歴史的変遷を探ることを目的としている。

## 2 各要素の相互関係

実際の研究対象建築において、ハルビン近代建築の頂部における形態が1種類の基本要素で成り立っている場合はほとんどなく、多くの建築の形態は複数の基本要素の組み合わせによって構成されている。前掲の論文で分類した基本形態要素に基づいて、頂部を構成する形態要素の組み合わせを表したのが図であり、複合のタイプ総数は61種類となる。

すべての建築が屋根をもつことに着目し、屋上突出物・パラペットの組み合わせを屋根形式ごとに分類する。また、ハルビンの近代建築の屋根は単一の屋根形式のものが多いため、複数の屋根形式をもつ建築については、屋根形式の組み合わせについて分類する(表-1)。以下、図・表をもとに考察を進める。

## 3 複合タイプの考察

屋上突出物・パラペットの無い建築は、ほとんどが勾配屋根で、特に中国の伝統的な琉璃瓦をもつ「入母屋」(図-1・30)が多い。この形式は仏教寺院であり、西洋様式は現われない。1920年代の中国民族文化を提唱する中国軍閥時代に、建立され、ハルビン近代建築の中では異質である。

屋上突出物のみをもつ建築も、ほとんどが勾配屋根であり、特にロシア民間住宅でよく見られる鉄板覆きの低い「寄棟」と様々な西洋様式風の屋上突出物とを組み合わせるタイプがよく見られる。屋上突出物には、図-1・21のような「多角葱花体」屋上突出物をもつロシア風の建築、図-1・8のようなロシア風の「半球体」の突出物をもつ折衷主義の建築など、多様な形態が表現されており、建築の個性が表現される部位であり、これらは西洋からの様式がロシアを経由してハルビンに伝わったものと思われる。

パラペットのみをもつ建築は、陸屋根が種類・量とも多く、特に「四角形」とそれを含む「四角形・四角形+弧形」、「四角形+弧形」が多い。「四角形」においては、図-1・53のようなルネサンス風とモダニズム風の両方の特徴をもつ折衷主

義の建築や、新古典主義風、モダニズム風などに代表される形態がよく見られる。「四角形・四角形+弧形」においては、図-1・57のようなバロック風の建築も、多い。「四角形+弧形」においては、図-1・61のようなアール・ヌーボー風の建築がよく見られる。この形式では「弧形」を含む複合形の形態要素がほとんど西洋様式風であり、複雑な装飾をもっている。「四角形」の形態要素は、西洋様式以外に、モダニズム風の建築もよく採用している。

屋上突出物・パラペットをもつ建築は、ほとんどの種類が陸屋根である。特に、陸屋根、「四角形」のパラペットと多様な突出物との組み合わせによって、様々な西洋様式が形成されている。図-1・47のような「四角傘体」突出物をもつ折衷主義の建築などがある。

屋根形式が複合された建築は、大規模あるいは重要とされるもので、数が少なく、主流もない。

パラペットのみをもつ建築(パ)は、特に件数が多く、全体の64%を占める。その内陸屋根と「四角形」パラペットを含む形態要素は、91%を占める。屋上突出物・パラペットの無い建築(無)は、79%が勾配屋根であり、他にドーム、板状の陸屋根がある。屋上突出物・パラペットをもつ建築(突パ)は、陸屋根との組み合わせるタイプが80%で主流である。

すなわち、複合タイプよりみるハルビン近代建築の代表的な頂部形態構成は、陸屋根・「四角形」パラペットを含む形態要素、勾配屋根、陸屋根・多様な屋上突出物・パラペットであるといえる。屋上突出物は、(突)14件で10種類、(突パ)20件で16種類あり、複合タイプにおいても建築の個性が多様に表現されているといえる。

## まとめ

ハルビンの近代建築における頂部形態の特徴は、多種多様な屋上突出物と「四角形」あるいは「四角形+弧形」のパラペットに特徴があり、一見複雑な装飾をもつ建築も、外形は比較的単純な形態の組み合わせに還元される。

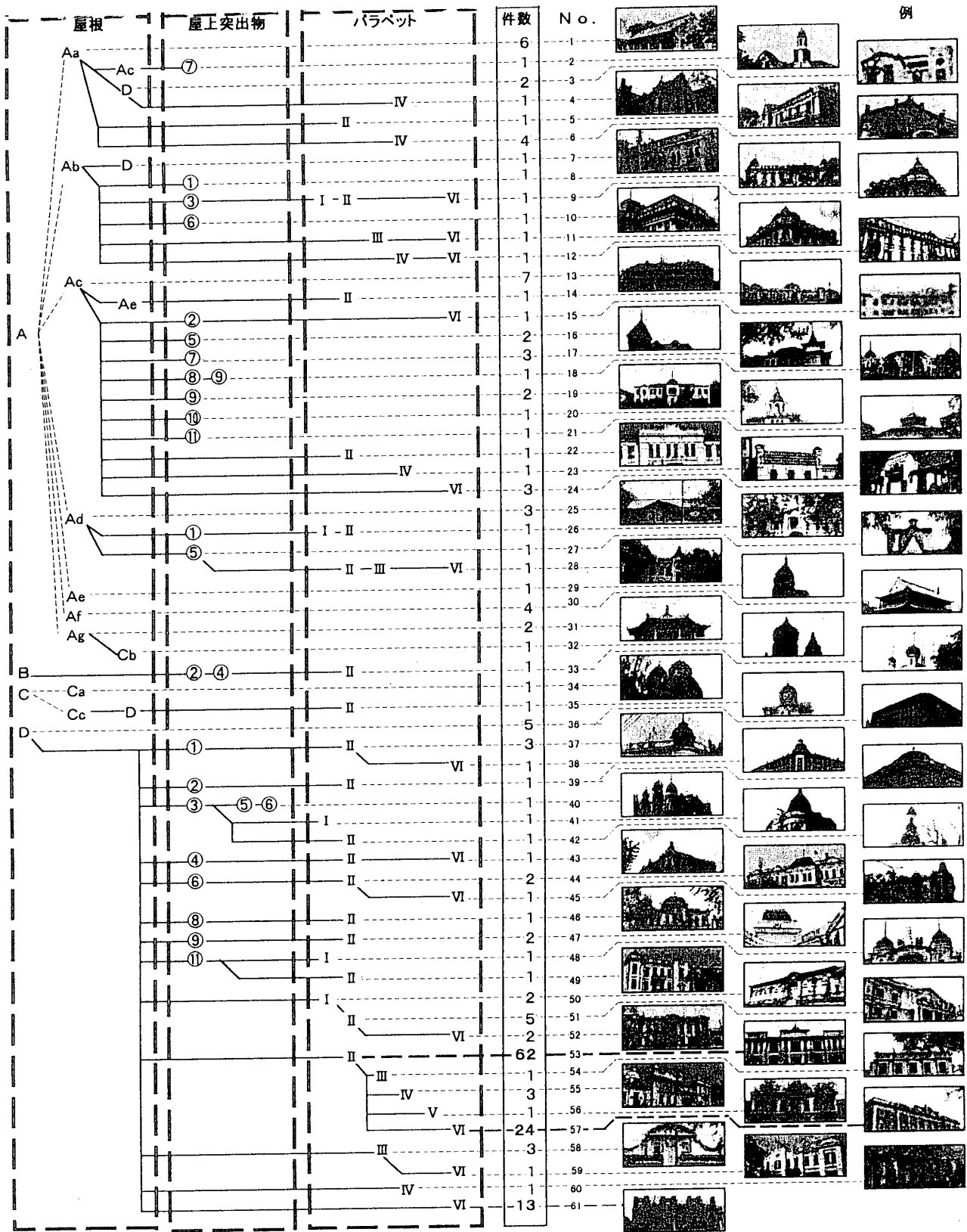
また、パラペットの単純な形態により、多くの異なった様式を折衷しつつ建築全体のイメージの統一性を保っているものと思われる。

表-1 屋根形式ごとの屋上突出物・パラペットの複合による分類

	A	B	C	D	合計
屋上突出物・パラペットの無い建築	22	0	1	5	28
屋上突出物のみをもつ建築	13	0	0	1	14
パラペットのみをもつ建築	12	0	0	118	130
屋上突出物・パラペットをもつ建築	3	1	0	16	20
複合の屋根形式をもつ建築	1	0	4	5	10

A STUDY OF TOP'S FORMAL ELEMENT AND COMPOSITION ON MODERN ARCHITECTURE IN HARBIN

ZHANG Jian, JIANG Yong, KONDO Shoichi and WAKAYAMA Shigeru



屋根										突出物						バルコニー												
勾配-A				勾配-B			勾配-C			陸屋根-D	基部四角形			基部四角形			基部多角形			単一形			複合形					
切妻	ツチ	寄棟	四方切妻	方形	入母屋	尖頭	勾配-B	皿状体	基花体	鉄兜体	陸屋根	半球体	皿状体	筋線体	基花体	円筒体	古体	四角錐体	四角大錐体	四角傘体	多角錐体	多角基花体	△	□	○	△+□	△+○	□+○
Aa	Ab	Ac	Ad	Ae	Af	Ag	B	Ca	Cb	Cc	D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	I	II	III	IV	V	VI

図-1 頂部形態における複合タイプ

\*1 名古屋工業大学大学院博士後期課程・修士 (工学) Dr.'s course, Nagoya Institute of Technology, Master Eng.  
 \*2 名古屋工業大学助手・修士 (工学) Research Assoc., Nagoya Institute of Technology, Master Eng.  
 \*3 名古屋工業大学教授・工学博士 Prof., Nagoya Institute of Technology, Dr. Eng.